

弱溶剤系1液含浸密着型高機能プライマー

DIA ダイヤ メンテプライマー-TN

無機系・光触媒・フッ素樹脂コーティングに 抜群の付着力を発揮する含浸密着型プライマーです。

特長

難接着型サイディングボード適性

それぞれに付着力の高い無機成分・有機成分を採用することにより従来のシーラーでは対応できなかった難接着型の窯業系サイディングボードへの適用を実現しました。

含浸固着・高密着

分子量の異なる成分をバランス良く配合することで、優れた含浸力および密着力を発揮します。

下地適性・作業性

1液弱溶剤タイプであるため、取り扱いが容易で下地を侵しにくく、幅広い下地に適用可能です。

ケミカルアンカー効果

- ① 大小の分子量を持つメンテプライマー成分をバランス良く配合しています。
- ② 分子量が小さい成分が下地に深く含浸し分子量が大きい成分が表層で強固に成膜します。
- ③ 表層と浸透層での硬化反応が促進され浸透層をアンカーとした成膜が完成します。
- ④ 下地への含浸固着性と強靱な成膜により難接着下地に対し強力な付着効果を発揮します。

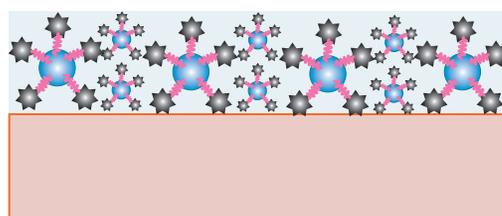
※ 無機や光触媒により表面処理された塗り重ねが難しいサイディングボード。

メンテプライマー-TNの接着メカニズム

モデル図	成分
	有機成分 (有機成分に付着)
	無機成分 (無機成分に付着)
	メンテプライマー成分 (分子量大)
	メンテプライマー成分 (分子量小)

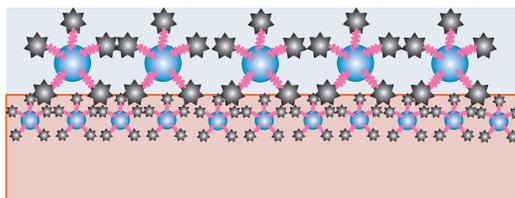
【塗布時】

分子量大・小のメンテプライマー成分が混在



【塗布後】

分子量大のメンテプライマー成分が表層に残り、分子量小のものが深く浸透する。その後、表層膜と浸透層でのメンテプライマー成分の硬化反応が進む。



【反応後】

表層に成膜したメンテプライマーと深く浸透した層が一体化し、下地にアンカー効果を持つメンテプライマー層が完成。



ダイヤモンドプライマー-TN

■ 標準施工仕様

工程	材料	調割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工器具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	(1)劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去して下さい。 (2)既存塗膜のチョーキング、ほこり、汚れ等は高圧水洗等で除去・清掃して下さい。 (3)塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生して下さい。 (4)雨あがり後は、下地面が均一に乾いてから施工して下さい。						
2	下塗材	ダイヤモンドプライマー-TN 無希釈	14kg	0.1~0.2kg/m ² 70~140m ² /缶	1	-	2時間以上 3日以内	刷毛 ローラー エアレス
3	上塗材	各種上塗材の標準仕様により施工して下さい。 (弱溶剤系を推奨 強溶剤系は不可)						

※乾燥時間は、標準状態（23℃、50%RH）での時間を示します。
 ※次工程への間隔時間は厳守してください。3日以上経過しますと付着効果が著しく低下する恐れがあります。
 ※既存塗膜の形状や素材、塗装方法、環境などによって所要量が増減することがあります。
 ※無塗装下地への直接の塗装は仕上がりが悪くなりますので避けてください。

■ 適用下地

窯業系サイディングボード面
 【工場塗装板：光触媒コーティング、無機系コーティング材 含む】
 各種現場塗装面
 【フッ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料 含む】
 ※フッ素樹脂塗料（工場塗装）については別途お問い合わせ下さい。

■ 適用上塗材

各種弱溶剤系上塗材【クリヤー塗料は除く】
 ※水系上塗材についてはメンテプライマー-TN塗布後、当日中に上塗材（1層目）を塗布して下さい。

■ 施工・管理上の注意

【塗装面の調整（改修）】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レィタンス等を完全に除去して下さい。
- ②雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ③屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
- ④使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- ⑤既存塗膜の種類によりリフティング（シワ）を生じることがありますので、あらかじめ目立たない箇所を確認して下さい。

【材料の保管・管理】

- ①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
- ②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ③下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。
メンテプライマー-TN

【施工】

- ①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生をして下さい。
- ②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、成膜不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。
- ③材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと斑が残ったりとなります。
- ④乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
- ⑤コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- ⑥下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- ⑦施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因となります。
- ⑧施工後24時間以内に降雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生

- し、壁面に残る場合があります。
- ⑧本施工に入る前に試験塗りを行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。
- ⑩常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- ⑪安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- ⑫一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。
- ⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
- ⑭フッ素や無機系塗料が塗装されている下地の種類によっては、適用できない場合がありますので、あらかじめ試験塗りすることをお勧めします。
- ⑮可使時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
- ⑯使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。

【安全衛生上の注意】

- ①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- ②取扱い後は、手洗い及うがいを十分に行ってください。
- ③子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ④作業中・作業後は十分換気を行ってください。
- ⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- ⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- ⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- ⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

【その他】

- ①その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。
- ②施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
- ③施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認下さい。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。